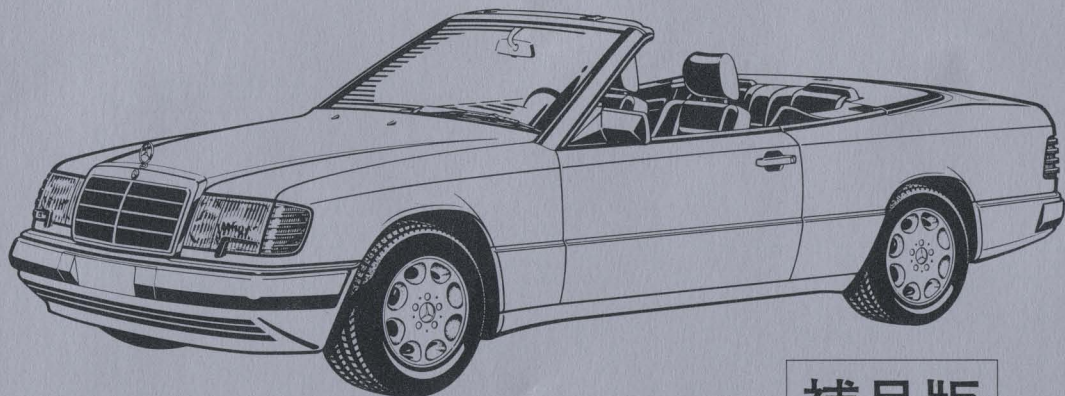




Mercedes-Benz

取扱説明書

ミディアムクラス 320CEカブリオレ



補足版



Mercedes-Benz

取扱説明書

320CE Cabriolet

本車はドイツのメルセデス・ベンツ社で製造されています。

この取扱説明書は、本車の安全な運転と保守のために、必ずお読みください。

お客様のメルセデス・ベンツ320CEカブリオレには、ソフトトップ、セーフティ・ヘッドレストなど、他のミディアムクラスとは異なる装備が施されています。またエンジンルーム内の補助ヒューズや車両データに関する、特別にご注意いただくなくてはならない事項がございます。お車をご使用になる前に、本編の取扱説明書に加え、この補足版取扱説明書も充分にお読みください。なお、取扱方法についてご質問がございましたら、お買い上げの販売店、またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場までお問い合わせください。

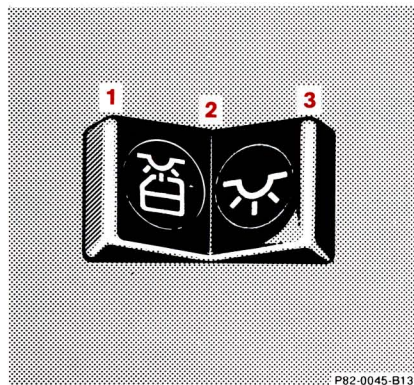
総輸入元

メルセデス・ベンツ日本株式会社

〒105 東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX TTビル

インテリアランプ	4
パワーウインドウ	5
セーフティ・ヘッドレスト	6
ソフトトップ	8
車両の手入れ	16
トランクルーム内の付属品	17
ヒューズ	18
テクニカルデータ	19

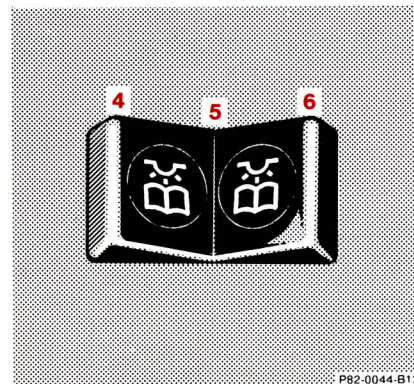
インテリアランプ



ルームランプ

ルームランプのスイッチは3段階に分かれています。操作方法は以下の通りです。

- 1 ドアの開閉に従って、ルームランプが点灯／消灯
(消灯の場合は、ドアを閉めて数秒後に消灯します)
- 2 常時消灯
- 3 常時点灯



読書灯

読書灯のスイッチは、3段階に分かれています。操作方法は以下の通りです。

- 4 左側の読書灯が点灯
- 5 消灯
- 6 右側の読書灯が点灯

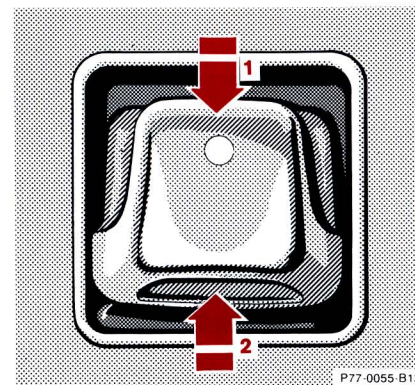
パワーウィンドウ

320CEカブリオレのパワーウィンドウは、通常のパワーウィンドウ・スイッチに加えて、ルーフ・スイッチを操作することで全てのパワーウィンドウを同時に開閉することができます。

ルーフ・スイッチによるパワーウィンドウの操作：ルーフ・スイッチを1の方向に素早く2度押してから、その位置で保持し続けると、パワーウィンドウが開きます。ルーフ・スイッチを2の方向に素早く2度押してからその位置で保持し続けると、パワーウィンドウが閉じます。希望の位置でスイッチを放せば、その位置で停止します。

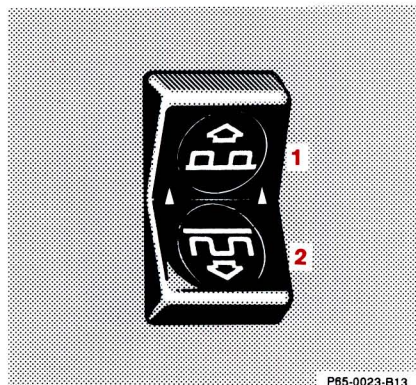
知識

ルーフ・スイッチでパワーウィンドウを操作する時は、間隔をおかずに素早く2度押してください。間隔をあけて押すと作動しないことがあります。



P77-0055 B13

セーフティ・ヘッドレスト



セーフティ・ヘッドレスト

セーフティ・ヘッドレストはロールバーと一体化しています。インストルメント・パネル及びセンターコンソール後部のスイッチで手動で上下することができる他、万一の事故や危険な運転状況の時には自動的に上がって乗員を保護します。


セーフティ・ヘッドレストの操作：セーフティ・ヘッドレストはイグニッション・スイッチが2のポジションにある時に作動します。スイッチの上部1を押せば上がり、下部2を押せば下がります。イグニッション・スイッチを2のポジションにすると、約15秒間スイッチのインジケータランプが点滅します。これは後席に人が乗っている時にはセーフティ・ヘッドレストを上げることを促すためのサインです。また、センターコンソール後部に注意書きが貼付されています。インジケータランプが点灯し続ける時は、セーフティ・ヘッドレストが完全に上下していません。完全に上下するまでスイッチを操作してください。

注意

後席に人を乗せている時や外気温度が -15°C よりも低い時には、あらかじめセーフティ・ヘッドレストを上げたまま運転するようにしてください。

知識

セーフティ機能が作動してセーフティ・ヘッドレストが上がった時には、スイッチの下部2を押しても下がりません。完全に上がり切るまでスイッチの上部1を押し続け(少なくとも8秒以上)てから、スイッチの下部2を押して下げてください。

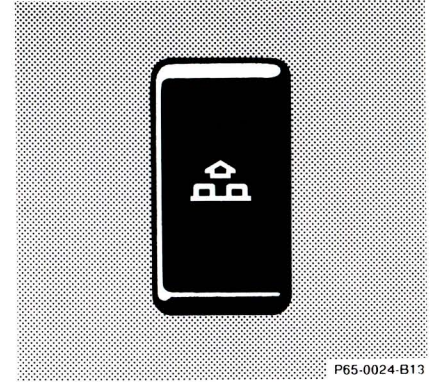
パワーウインドウのセーフティ・スイッチ  は、セーフティ・ヘッドレストにも有効です。セーフティ・スイッチを右側にスライドさせると、センターコンソール後部のスイッチからはセーフティ・ヘッドレストを操作できなくなります。後席に子供などを乗せる時には、セーフティ・ヘッドレストを上げた後このスイッチを作動させるなどの配慮をしてください。

重要

セーフティ・ヘッドレストのスイッチを操作する前に、セーフティ・ヘッドレストの作動する範囲内に何も障害物がなく、身体や物が挟まる危険がないことを確認してください。安全のためにスイッチから手を放すとセーフティ・ヘッドレストはその位置で停止します。

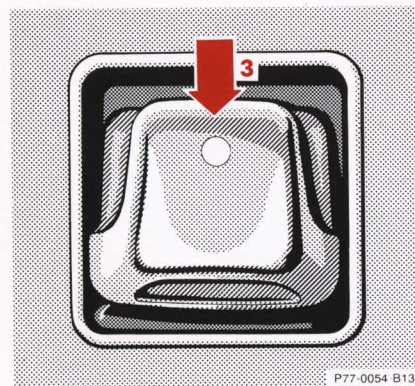
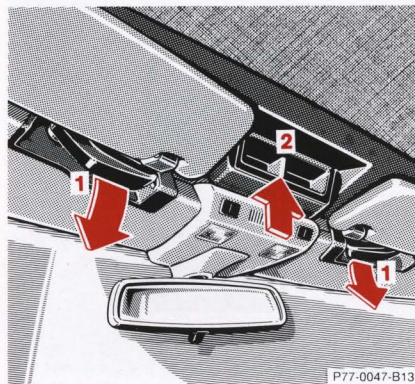
セーフティ・ヘッドレストの異常：セーフティ・ヘッドレスト・スイッチの隣にセーフティ・ヘッドレスト警告灯があります。警告灯はイグニッション・スイッチが2のポジションにある時点灯します。点灯しなかった時には警告灯に何らかの異常があることを示します。エンジンを始動する前に警告灯が点灯することを確認してください。正常な時、警告灯はエンジン始動後に消灯します。もし消灯しなかったり、走行中に点灯した時にはセーフティ・ヘッドレストに何らかの異常があることを示します。手動でセーフティ・ヘッドレストを上げて、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で速やかに点検を受けてください。

また、セーフティ・ヘッドレストが完全に上がっていない時には、セーフティ・ヘッドレスト・スイッチのインジケータランプも点滅したままになります。



セーフティ・ヘッドレスト警告灯

ソフトトップ



ソフトトップ

ソフトトップは電動で開閉することができます。

ソフトトップの開き方：ソフトトップは以下の手順で開いてください。

- 1 パーキングブレーキが掛かっていることを確認します。
- 2 イグニッション・スイッチを2のポジションにします。
- 3 両側のハンドル1を同時に引き下げます。この時ルーフ・スイッチのインジケータランプが点灯します。
- 4 ソフトトップの凹部2に手を掛け、ソフトトップのフレームを上方に押し上げます。
- 5 ルーフ・スイッチを3の方向に押し下げ、その位置で保持すると、ソフトトップは開き始めます。
 - 全てのパワーウィンドウが下がります。
 - セーフティ・ヘッドレストが上げられている時には、自動的に下がります。
 - ソフトトップのフレームの後部が起き上がります。
 - 収納庫のカバーが開きます。
 - ソフトトップが収納庫に収納されます。
 - 収納庫のカバーが閉じてロックされます。

重要

ルーフ・スイッチを操作する前に、ソフトトップ自体はもちろん、セーフティ・ヘッドレストやパワーウィンドウ、ソフトトップのリンケージ、ソフトトップ収納庫のカバーなどの可動部が作動する範囲内に何も障害物がなく、身体や物などが挟まる危険がないことを確認してください。ソフトトップが作動している時には、後席の乗員は少し前かがみになってください。

- 6 両側のハンドル1を完全にロックが掛かるまで（ハンドルの枠に設けられた突起を越えて、さらにカチッという音が聞こえるまで）押し上げます。
- ルーフ・スイッチのインジケータランプが消灯し、操作は終了します。

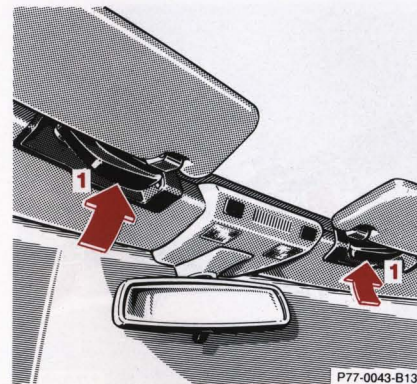
ルーフ・スイッチを1度放した後、30秒以内に再び3の方向に押し下げると、パワーウィンドウが上がります。ソフトトップを開く前にセーフティ・ヘッドレストが上げられていた時には、セーフティ・ヘッドレストも上がります。パワーウィンドウとセーフティ・ヘッドレストはそれぞれのスイッチでも操作することができます。またルーフ・スイッチの操作によって全てのパワーウィンドウを同時に開閉することもできます。詳しくは5ページをご覧ください。

知識

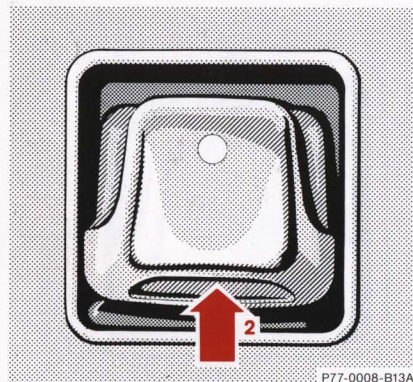
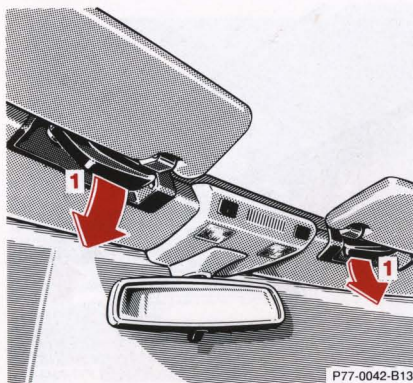
安全上の理由から走行中にソフトトップを開くことはできません。ハンドル1がロックされた状態でルーフ・スイッチを操作すると、スイッチのインジケータランプが点滅し、警告ブザーが鳴ります。

注意

ソフトトップの生地が凍結している時、また外気温が -15°C 以下の時にはソフトトップを開閉してはいけません。また、ソフトトップを長時間収納しておく時は、乾燥した状態にしておかなければなりません。やむを得ず湿ったままで収納しなければならない時は、なるべく短時間に止めてください。



ソフトトップ



ソフトトップの閉じ方：ソフトトップは以下の手順で閉じてください。

- 1 パーキングブレーキが掛かっていることを確認します。
- 2 イグニッション・スイッチを2のポジションにします。
- 3 両側のハンドル1を引き下げます。この時ルーフ・スイッチのインジケータランプが点灯します。
- 4 ルーフ・スイッチを2の方向に押し上げ、その位置で保持するとソフトトップは閉じ始めます。
 - 全てのパワーウィンドウが下がります。
 - セーフティ・ヘッドレストが上げられている時には、自動的に下がります。
 - 収納庫のカバーが開き、ソフトトップが収納庫からでます。
 - ソフトトップのフレーム後部が起き上がります。
 - 収納庫のカバーが閉じます。
 - ソフトトップのフレーム後部が再び下がりロックされます。

知識

安全上の理由から走行中にソフトトップを閉じることはできません。セーフティ機能が作動してセーフティ・ヘッドレストが上がった時には、少し長めにルーフ・スイッチを操作する必要があります。

注意

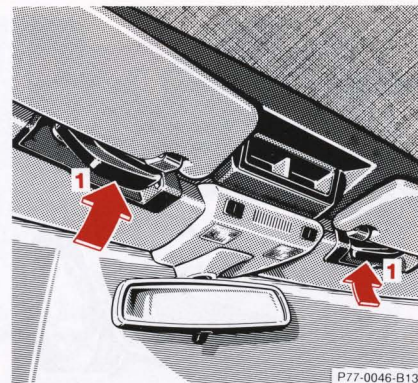
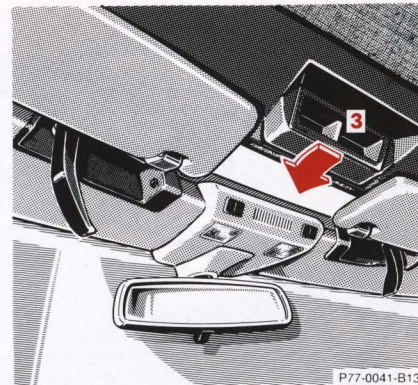
ソフトトップを閉じる時にはサンバイザーを下げた状態にしてください。サンバイザーを上げたままでソフトトップを閉じると、サンバイザーが破損する恐れがありますので十分に注意してください。

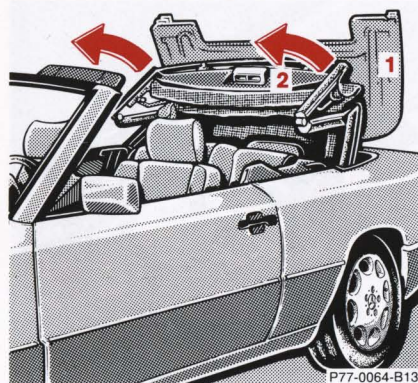
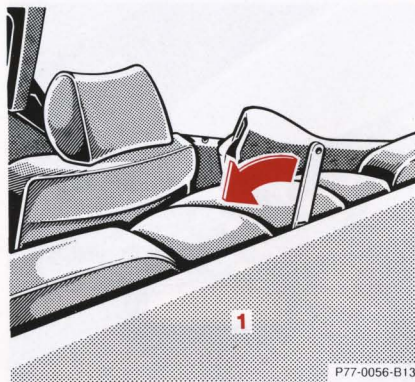
- 5 ソフトトップ凹部**3**に手を掛け、ソフトトップのフレームがロックと噛み合うまで引き下げます。
- 6 両側のハンドル**1**を完全にロックが掛かるまで（ハンドルの枠に設けられた突起を越えて、さらにカチッという音が聞こえるまで）押し上げます。ルーフ・スイッチのインジケータランプが消灯し、操作は終了します。

重要

ルーフ・スイッチを操作する前に、ソフトトップ自体はもちろん、セーフティ・ヘッドレストやパワーウィンドウ、ソフトトップのリンクージ、ソフトトップの収納庫のカバーなどの可動部が作動する範囲内に何も障害物がなく、身体や物などが挟まる危険がないことを確認してください。ソフトトップが作動している時には、後席の乗員は少し前かがみになってください。

発進する前に、ソフトトップが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていない時には、ルーフ・スイッチのインジケータランプが点灯しています（イグニッション・スイッチが**2**のポジションにある時）。また発進すると同時にルーフ・スイッチのインジケータランプが点滅し、警告ブザーが鳴ります。ソフトトップが確実にロックされていない状態で車両が発進すると、ソフトトップが固定されず危険です。





ソフトトップの異常：ソフトトップの開閉操作中にルーフ・スイッチのインジケータランプが点滅する時には、バッテリーの電圧が低すぎることを示します。エンジンを始動してください。

エンジンを始動してもインジケータランプが点滅し続ける時には、システムに何らかの異常が発生した恐れがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐに点検を受けてください。

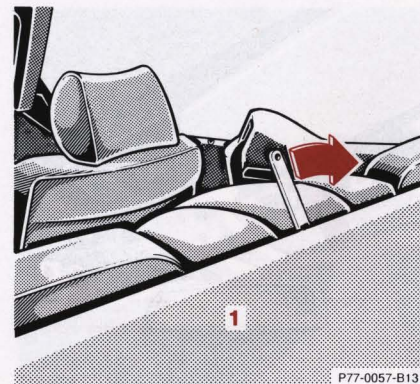
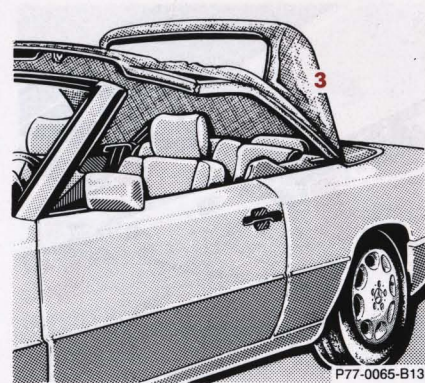
知識

短時間のうちに何度もソフトトップの開閉操作を行なうと、ソフトトップのモーターが一時的に作動しなくなることがあります。1度イグニッション・スイッチを0のポジションにしてから再度2のポジションにするか、2分ほど待ってからもう1度操作してください。セーフティ・ヘッドレストが自動的に上がっている時には、少し長めにルーフ・スイッチを操作する必要があります。

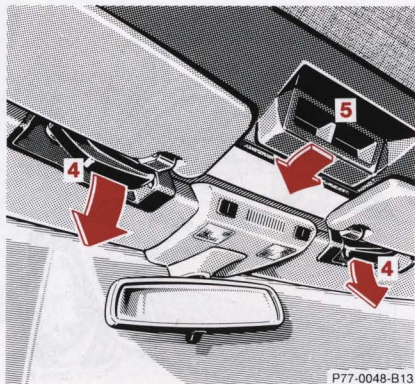
ソフトトップの手動操作：万一システムに異常が発生しても、ソフトトップは手で閉じることができます。作業は2人で慎重に行なってください。作業には車載工具のレンチを使用します。手順は以下の通りです。

- 1 パーキングブレーキが掛かっていることを確認します。
- 2 パワーウィンドウを下げます。
- 3 スイッチでセーフティ・ヘッドレストを下げます。
- 4 レンチを収納庫のカバー1と後席バックレストの間にあるボルトに差し込み、矢印の方向に回転させてカバーのロックを解除します。
- 5 収納庫のカバー1を図のように垂直に起こします。
- 6 ソフトトップ2を収納庫から前方へ引き出します。

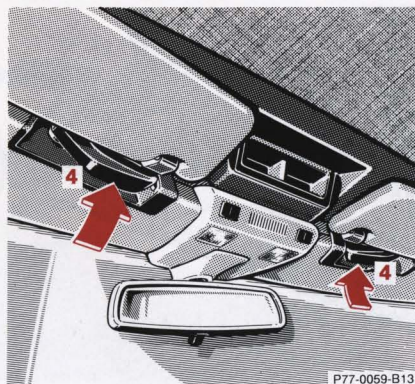
- 7 ソフトトップのフレーム後部**3**を図のように垂直に起こします。
- 8 収納庫のカバーを閉じます。レンチを収納庫のカバー**1**とバックレストの間にあるボルトに差し込み、矢印の方向にカチリという音が聞こえるまで回転させます。



ソフトトップ



- 9 ハンドル4を引き下げます。
- 10 ソフトトップの凹部5に手を掛け、ソフトトップのフレームがロックに噛み合うまで引き下げます。
- 11 両側のハンドル4を完全にロックが掛かるまで（ハンドルの枠に設けられた突起を越えて、さらにカチッという音が聞こえるまで）押し上げます。



- 12 ソフトトップのフレーム後部**3**を下ろします。この部分は下ろしたままの状態にしておいてください。無理に押し込んでロックしてはいけません。

重要

作業を行なう前に、ソフトトップ自体はもちろん、ソフトトップ収納庫のカバーなどの可動部が作動する範囲内に何も障害物がなく、身体や物などが挟まる危険がないことを確認してください。作業を行っている時には、後席の乗員は少し前かがみになってください。

発進する前に、ソフトトップが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていない時には、ルーフ・スイッチのインジケータランプが点灯しています（イグニッション・スイッチが**2**のポジションにある時）。また発進すると同時にルーフ・スイッチのインジケータランプが点滅し、警告ブザーが鳴ります。ソフトトップが確実にロックされていない状態で車両が発進すると、ソフトトップが固定されず危険です。



P77-0066-B13

車両の手入れ

ソフトトップの手入れ：ソフトトップは閉じた状態でロックしてから手入れをしてください。

ソフトトップを閉じた状態でも洗車機にかけてはいけません。

鳥の糞が着いた時には、早急に取り除くようにしてください。

普段はホースで洗い流すか、きれいな水で洗えば充分です。ソフトトップはひどく汚れた時のみ丸洗いしてください。ソフトトップやリアウインドウのお手入れには、ガソリンやシンナー等の有機物を使用してはいけません。

乾いた状態での手入れ：柔らかいブラシを使用して、前から後へ一定の方向にブラッシングしてください。

水洗い：まず乾いた状態でブラシをかけてください。中性洗剤と十分なぬるま湯を用意し、柔らかいブラシ又はスポンジで手前から後ろへとぬぐうようにして洗います。その後きれいな水で完全に洗い流してください。たとえ部分的に水洗いした場合でも、最後にソフトトップ全体を濡らしてから乾燥させてください。リアウインドウを洗う時には、布に洗剤を浸して拭いてから、乾いた布で拭き取ってください。

ソフトトップの防水：手入れの方法が間違っていたり、長期間使用した後などには、ソフトトップの縫い目から水が漏れ始めることがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場で縫い目の防水処理を行なってください。

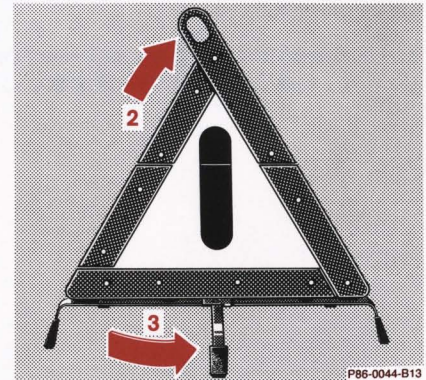
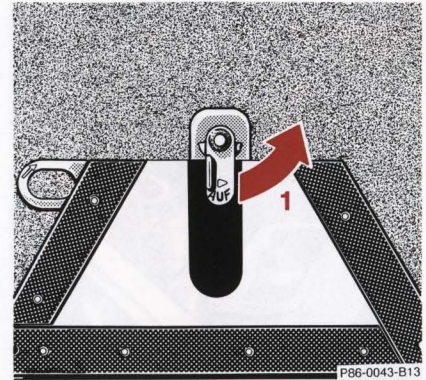
停止表示板

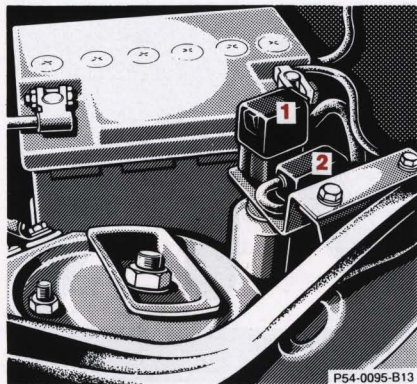
停止表示板はトランクリッドの内側に取り付けられています。

停止表示板の外し方：取り外す時には、ロックを**1**の方向に回してください。表示板を組み立てる時にはリング状の部分を持って矢印**2**の方向に引いてください。脚の部分は**3**の方向に開きます（保安基準適用外品のため、補助としてご使用ください）。

救急箱

救急箱はトランクルーム向かって右側の凹部に収納されています。





P54-0095-B13

ヒューズ

メルセデス・ベンツ320CEカブリオレには、エンジンルームに向かって左側、バッテリーの手前に補助ヒューズボックスが備えられています。容量は以下の通りです。

- 1 16 A : ソフトトップコントロールユニット
8 A : セーフティ・ヘッドレスト
- 2 30 A : 油圧ユニット

タイプ	320CE Cabriolet(E-124066)
エンジン	
型式	I049型 水冷直列6気筒
バルブ型式	DOHC
シリンダ 内径×行程	φ89.9×84.0mm
総排気量	3199cc
圧縮比	10.0
最高出力(DIN)	225PS/5500r.p.m.
最大トルク(DIN)	32.3kgm/3750r.p.m.
許容最高回転数	6400r.p.m.
燃料供給装置	モトロニック
点火順序	1-5-3-6-2-4
トランスミッション	
5段オートマチック	
型式	流体式トルクコンバータ 前進5段、後退1段
変速比	3.871/2.247/1.436/1.000/R : 5.586
最終減速比	3.692
ステアリング	
型式	リサーキュレーティングボール/ パワーアシスト付

ホイール/タイヤ

ホイール	軽合金6½J×15H2
タイヤ	195/65R15

主要寸法

全長×全幅×全高	4655×1740×1390mm
ホイールベース	2715mm
トレッド前/後	1505/1500mm

重量

車両重量	1810kg*
車両総重量	2030kg*

電気系統

オルタネーター	14V/70A、14V/80A、14V/90A
スタータモーター	12V/1.7kw
バッテリー	12V/62Ah、12V/72Ah、12V/90Ah、12V/92Ah

* ASD付は+10kg

●冬期用のタイヤについては、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

総輸入元

メルセデス・ベンツ日本株式会社

〒105 東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX TTビル

MBJCSD 30280-1 29200550